

カンキツ*¹(作物群登録)(果樹類の登録農薬も使用できる)

	薬剤名	ミ カ ン キ ツ	そ の 他 の カ ン キ ツ	系 統 区 分	作 用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	か い よ う 病	赤 衣 病
1	アグロケア水	☆	☆	生物農薬	BM2		1	-		
2	エコショット顆水	☆	☆	生物農薬	BM2		*e	-		
3	バイオキーパー水	☆	☆	生物農薬	-		*g	-	◎	
4	パチスター水	☆	☆	生物農薬	BM2		*g	-		
5	ボトキラ水	☆	☆	生物農薬	BM2		*f	-		
6	マスタピース水	☆	☆	生物農薬	-		1	-	◎	
7	I Cボルドー66DFL	☆	☆	無機	M1		-	-	◎	
8	I Cボルドー412FL	☆	☆	無機	M1		-	-	◎	
9	Zボルドー水	☆	☆	無機	M1		-	-	◎	
10	クプロシールドFL	☆	☆	無機	M1		-	-	◎	
11	コサイド3000DF	☆	☆	無機	M1		*i	-	◎	
							-	-		
12	石灰硫黄合剤	☆		無機	M2		-	-		
		☆					冬	-	◎	
13	ドイツボルドーA水	☆	☆	無機	M1		-	-	◎	
14	ジーファイン水	☆	☆	無機・無機	NC・M1		1	-	◎	
15	フルピカFL	☆	☆	A P	9		*b	2		
16	オーシャイン水	☆	☆	D M I	3		1 7	5 5		
17	マナージDF	☆	☆	D M I	3		30	3		
18	ストロビーDF	☆	☆	Q o I	11		14	3		
19	ファンタジスタ顆水	☆	☆	Q o I	11		14	3		
20	アフェットFL	☆	☆	アミド	7		1	3		
21	カンタスDF	☆	☆	アミド	7		14	3		
22	パスワード顆水	☆	☆	アミド	17		14	2		
23	ビクシオDF	☆	☆	アミド	17		1	3		
24	フルーツセイバーFL	☆	☆	アミド	7		1	3		
25	レーバスFL	☆	☆	アミド	40		1	3		
26	バリダシン液5	☆	☆	抗生物質	U18		7	4	◎	
27	ポリオキシシAL水	☆	☆	抗生物質	19		14	5		◎
28	マイコシールド水	☆	☆	抗生物質	41		60 30	2 2	◎ ◎	
29	スミレックス水	☆		ジカルボキミト	2		*d	3		
30	ロブラール水	☆	☆	ジカルボキミト	2		7	3		
31	トップジンM水	☆	☆	ベンゾイミダゾール	1		1 1	5 5		
32	トップジンMペースト	☆	☆	ベンゾイミダゾール	1		*h	3		
33	ベンレート水	☆	☆	ベンゾイミダゾール	1		1 1	4 2		
34	ジマンダイセン水	☆	☆	有機硫黄	M3		30 90	4 4		◎ ◎
35	ペンコゼブ水	☆	☆	有機硫黄	M3		30 90	4 4		
36	オキシンドー水80	☆	☆	有機銅	M1		30 30	5 3		
37	キノンドーFL	☆		有機銅	M1		30	5		

カンキツ

灰 色 か び 病	褐 色 腐 敗 病	黒 点 病	黒 腐 病	黄 斑 病	そ ば か す 病	そ う か 病	小 黒 点 病	炭 疽 病	青 か び 病	緑 か び 病	白 か び 病	軸 腐 病	幹 腐 病	こ う じ か び 病	す す 斑 病	ゆ 合 促 進 (枯 込 防 止)	
◎																	1
◎																	2
																	3
◎																	4
◎																	5
																	6
		◎				◎							◎				7
		◎															8
			◎			◎											9
		◎				◎											10
																	11
	◎	◎															12
		◎				◎											13
																	14
◎																	15
◎						◎			◎	◎							16
◎						◎			◎	◎							17
◎	◎	◎		◎	◎	◎											18
◎		◎				◎											19
◎						◎											20
◎																	21
◎																	22
◎																	23
◎		◎				◎											24
	◎																25
																	26
																	27
																	28
◎																	29
◎			◎	◎					◎	◎							30
◎						◎			◎	◎		◎					31
									◎	◎		◎					32
◎						◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	33
								◎	◎	◎	◎	◎					34
	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎			◎				35
	◎	◎			◎	◎		◎	◎	◎							36
		◎		◎		◎		◎	◎	◎			◎				37

カンキツ*1 (作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

	薬剤名	ミ カ ン キ ツ	そ の 他 の カ ン キ ツ	系 統 区 分	作 用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	か い よ う 病	赤 衣 病
38	バッチレート塗	☆		有機銅	M1		*j *j	5 3		
39	アリエッティ水	☆	☆	有機リン	P7		1	3		
40	カナメFL	☆	☆	他	7	劇	1	3		
41	ケンジャFL	☆	☆	他	7		7	3		
42	デランFL	☆	☆	他	M9	劇	30	3		
43	パレード15FL	☆	☆	他	7		7	2		
44	フロンサイドSC	☆	☆	他	29		30	1		
45	ベフラン液25	☆		他	M7	劇	1	3		
		☆					1	2		
46	バルクートFL	☆		他	M7		1	3		
		☆					1	2		
47	ライメイFL	☆	☆	他	21		1	3		
48	ランマンFL	☆	☆	他	21		1	3		
49	スイッチ顆水	☆		AP・他	9・ 12		7 45	3		
		☆								
50	ナティーボFL	☆	☆	DMI・QoI	3・11		1	3		
51	テーク水	☆		DMI・有機硫黄	3・ M3		30 90	3 3		
		☆								
52	ナリアWDG	☆	☆	QoI・アミド	11・ 7		14	3		
53	カスミンボルドー水	☆		抗生物質・無機	24・ M1		7 45	5 5	◎	◎
		☆								
54	スミブレンド水	☆		ベンゾイミダゾール・ ジカルボキシミド*	10・ 2		*d	3		
		☆					7	5		
55	ゲッター水	☆	☆	ベンゾイミダゾール・ ベンゾイミダゾール	10・ 1		21	5		
		☆					*a	5		
56	ラビライト水	☆		ベンゾイミダゾール・ 有機硫黄	1・ M3		60	2		
57	リドミル銅水	☆		無機・アミド	M1・ 4		14	2		
58	キンセツ水80	☆		無機・有機銅	M1・ M1		30 30	5 3	◎	◎
		☆								
59	リドミルゴールドMZ 顆水	☆		有機硫黄・アミド	M3・ 4		30	2		
60	ダイマジン水	☆	☆	他・アミド	M7・ 17		14	2		
61	ポリベリン水	☆		他・抗生物質	M7・ 19		*f 21	3 2		
		☆					7	3		
62	ベフトップジンFL	☆		他・ベンゾイミダ ゾール	M7・ 1	劇	1	2		

*1:カンキツ…「農薬登録における適用作物名について」(P.40)を参照のこと。

※みかん、みかんを除くカンキツ(なつみかん、ゆず、レモン等)に使用できる農薬(使用法)を☆で区別した。

灰色 か び 病	褐色 腐 敗 病	黒 点 病	黒 腐 病	黄 斑 病	そば か す 病	そ う か 病	小 黒 点 病	炭 疽 病	青 か び 病	緑 か び 病	白 か び 病	軸 腐 病	幹 腐 病	こ う じ か び 病	す す 斑 病	ゆ 合 促 進 (粘 込 防 止)	
													◎			◎	38
	◎												◎			◎	39
◎						◎											40
◎		◎				◎											41
		◎				◎		さ									42
◎						◎											43
◎		◎				◎											44
			◎						◎	◎	◎				◎		45
◎			◎			◎			◎	◎	◎		ゆ		◎		46
◎			◎			◎			◎	◎		◎	◎				47
	◎																48
◎		◎															49
◎		◎															50
◎		◎				◎		さ	◎	◎							51
◎		◎				◎											52
																	53
	◎																54
						◎											55
◎						◎											56
◎		◎		◎	◎	◎	◎										57
	◎																58
						◎											59
	◎					◎											60
◎						◎											61
タ						タ											62
			◎					◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	62

*a:開花期 *b:開花期～幼果期(但し収穫90日前まで)
 *d:開花期(但し収穫30日前まで) *e:開花期～落弁期
 *f:開花期～幼果期 *g:発病前～発病初期
 *h:剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切取後
 *i:発芽前又は生育期 *j:剪定時及び病患部削り取り直後
 冬:冬期 さ:炭疽病(さび果) ゆ:ゆずに登録 タ:タンカンを除く

カンキツ*1 (作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ミ	ナ	そ	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ	チャノキイロアザミウマ	ネギアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	ヨコバヤシ	カイガラムシ	コナカイガラムシ	ロウ
	カ	ツ	の	系統区分				類	類	類	類	類	類	類	類
	ン	シ	他												
1 バイオセーフ	☆	☆	☆	生物農薬	-	*s	-								
2 ICボルドー66DFL	☆	☆	☆	無機		*b									
3 硫黄粉剤50	☆	☆	☆	無機	UN	-	-								
4 石灰硫黄合剤	☆	☆	☆	無機	UN	*Q	-								
5 クムラス顆水	☆	☆	☆	無機	UN	-	-								
6 サルファーゾルFL	☆	☆	☆	無機	UN	*b	-								
7 スピノエースFL	☆	☆	☆	スピノシン	5	7	2	◎	○	○	○				
8 コロマイト水	☆	☆	☆	コロイト*	6	7	2								
9 粘着くん水	☆	☆	☆	天然物由来	-	1	-				◎				
10 スピンドロン乳	☆	☆	☆	天然物由来		*h	-						◎	○	○
						*c	-								
						*a	-								
11 ハーベストオイル	☆	☆	☆	天然物由来		*h	-						◎	○	○
						*j	-								
						*i	-						◎	○	○
						*k	-								
						*m	-								
12 アブロードFL	☆	☆	☆	I GR	16	45	3						幼	幼	幼
						14	3						幼	幼	幼
13 カスケード乳	☆	☆	☆	I GR	15	7	2	◎							
14 ノーモルト乳	☆	☆	☆	I GR	15	21	3								
15 マッチ乳	☆	☆	☆	I GR	15	14	3	◎							
						21	1	◎							
16 オリオン水40	☆	☆	☆	カーバメート	1A	劇	14	3	◎	○	○	◎	◎	○	○
17 カネマイトFL	☆	☆	☆	殺ダニ	20B	7	1								
18 サンマイト水	☆	☆	☆	殺ダニ	21A	劇	3	2	◎						
19 スターマイトFL	☆	☆	☆	殺ダニ	25A	7	1								
20 ダニオーテFL	☆	☆	☆	殺ダニ	25B	1	1								
21 ダニエモンFL	☆	☆	☆	殺ダニ	23	7	1								
22 ダニゲッターFL	☆	☆	☆	殺ダニ	23	1	1	◎							
23 ダニコングFL	☆	☆	☆	殺ダニ	25B	1	1								
24 ダニサラバFL	☆	☆	☆	殺ダニ	25A	1	2								
25 ダニトロンFL	☆	☆	☆	殺ダニ	21A	14	2								
26 ニッソラン水	☆	☆	☆	殺ダニ	10A	7	2								
27 バロックFL	☆	☆	☆	殺ダニ	10B	14	2								
						1	2								
28 ピラニカ水	☆	☆	☆	殺ダニ	21A	劇	1	1							
						21	1								
29 マイトコーネFL	☆	☆	☆	殺ダニ	20D	7	1								
30 モベントFL	☆	☆	☆	殺ダニ	23	7	3	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
31 エクシレルSE	☆	☆	☆	ジアト*	28	1	3	◎	○	○	◎	チ			
32 テッパン液	☆	☆	☆	ジアト*	28	1	2	◎	○	○	◎				
33 フェニックスFL	☆	☆	☆	ジアト*	28	1	2								
34 ディアナWDG	☆	☆	☆	スピノシン	5	1	2	◎	○	○	◎				

カンキツ

ア	サ	ヤ	コ	ミ	カ	ミ	ミ	ミ	ス	ハ	ミ	ア	ハ	ケ	ケ	ヅ	コ	カ	カ	ク	ハ	チ	サ	ナ	カ	
カ	ノ	ネ	ナ	カ	メ	カ	カ	カ	カ	マ	ノ	ゲ	ス	ム	シ	キ	ウ	オ	キ	ナ	ワ	ダ	ノ	ビ	メ	タ
マル	ホ	カイ	ジ	ント	ム	ン	ン	ン	カ	キ	ノ	ゲ	モ	ト	トリ	キ	ハ	ナ	ネ	ノ	ダ	ホ	ダ	メ	ツ	
カイ	セ	イ	ラ	ゲ	シ	キ	シ	シ	シ	ム	ガ	ハ	ン	シ	ム	ス	ハ	ガ	タ	ミ	ニ	コ	ダ	ク	ム	
ガラ	カ	イ	ミ	ゴ	シ	ラ	バ	バ	バ	シ	ハ	ヨ	ト	ム	シ	シ	ム	タ	ハ	ハ	コ	ニ	ジ	リ	リ	
ムシ	ラム	ラム	ミ	シ	ラ	モ	エ	エ	ガ	シ	ハ	ウ	ウ	シ	シ	グ	シ	マ	シ	シ	ダ	ニ	リ	類	類	
																									1	
																								◎	◎	2
																						◎				3
		◎																			◎					4
																										5
																										6
									◎			ナ			ヨ											7
						◎															◎	◎				8
																										9
◎	◎	◎																			◎					10
			幼																							11
◎	◎	◎																								11
◎	◎	◎																								11
幼	幼	幼	若																							12
幼	幼	幼	若						◎						ヨ											13
									◎			◎														14
									◎			◎			ヨ											15
									◎			◎			ヨ											15
◎	◎	◎					成		◎	◎		◎			◎					◎	◎					16
																							◎			17
																							◎			18
																							◎			19
																							◎	◎		20
							◎																◎	◎		21
																							◎	◎		22
																										23
																										24
																										25
																										26
																										27
																							◎			28
																							◎			28
																										29
◎	◎	◎																					◎			30
							◎		◎	◎		◎	◎	◎	ヨ	◎							◎			31
								成			◎	◎	◎	◎	ヨ	◎							◎			32
											◎	◎	◎	◎	ヨ											33
											◎	◎	◎	◎	ヨ											34

カ
ン
キ
ツ

カンキツ*1 (作物群登録)(果樹類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ミ	ナ	そ	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ	チャノキイロアザミウマ	ネギアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	アブラムシ	ヨコバネ	カイガラムシ	コナカイガラムシ	ロウムシ		
35 アクタラ顆溶	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A		14	3	◎	◎	◎	◎					◎◎		
36 アドマイヤーFL	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A	劇	*g	3	◎	◎	◎	◎			◎		◎		
37 アドマイヤー顆水	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A	劇	*g	3	◎	◎	◎	◎					◎		
38 アルバリン顆溶スタークル顆溶	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A		1	3		◎			◎	チ			◎		
39 ダントツ溶	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A		1	3	◎	◎	◎	◎					◎ツ		
40 ベストガード溶	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A		7	3	◎	◎	◎	◎							
41 モスピラン顆溶	☆	☆	☆	ネオニコチノイド*	4A	劇	14	3	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎		
42 アディオン乳	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A		14	6		◎			◎						
43 テルスター水	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A		1	3		◎			◎						
44 テルスターFL	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	チ						
45 ベンカキリムシエアースルロビンフード	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A		1	5											
46 マブリック水20	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A	劇	45	2		◎			◎						
47 ロディー水	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A	劇	21	2		◎			◎						
48 ロディー乳	☆	☆	☆	ピレスロイド*	3A	劇	7	4		◎			◎		ド				
49 アニキ乳	☆	☆	☆	マクロライド*	6		1	4		◎									
50 ガットサイドS乳	☆			有機リン	1B		*e	1											
	☆					*L	1												
		☆				*o	1												
		☆				*p	1												
51 カルホス乳	☆			有機リン	1B	劇	30	4							◎◎◎				
52 サツチューコートS乳	☆			有機リン	1B		*f	1											
		☆				*n	1												
53 スミチオン乳	☆	☆	☆	有機リン	1B		14	5	◎	◎	◎	◎					◎		
54 スブラサイド乳40	☆	☆	☆	有機リン	1B	劇	14	4		◎			ユ		◎◎	◎	◎		
55 マラソン乳剤	☆	☆	☆	有機リン	1B		14	5		◎			ユ		◎◎	◎	◎		
56 コテツFL	☆	☆	☆	他	13	劇	1	2	ネ	◎	◎								
57 コルト顆水	☆	☆	☆	他	9B		1	3		◎			◎		◎◎◎				
58 トランスフォームFL	☆	☆	☆	他	4C		1	3	◎	◎	◎	◎	◎		◎◎◎				
59 ハチハチFL	☆	☆	☆	他	21A	劇	1	2	◎	◎	◎	◎	◎		◎				
60 ファインセーブFL	☆	☆	☆	他	34	劇	7	2	◎	◎	◎	◎							
61 フーモン乳	☆	☆	☆	他	-		1	-											
62 マイキラ	☆	☆	☆	他	8	劇	30	3											

カンキツ

カ
ン
キ
ツ

ア	サ	ヤ	ミ	カ	ア	ミ	ミ	ス	ミ	ハ	ミ	ア	ハ	ケ	シ	ゾ	コ	カ	ミ	カ	ク	ハ	チ	サ	ナ	カ
カ	ン	ノ	カ	メ	オ	カ	カ	カ	ン	マ	ノ	ゲ	ス	ム	ク	ウ	オ	キ	ン	ネ	ワ	ノ	ヤ	ビ	ナ	タ
マ	ル	ネ	ナ	メ	バ	カ	カ	ン	ツ	キ	ノ	ゲ	ム	ク	ウ	オ	キ	ン	ネ	ワ	ノ	ヤ	ビ	ナ	タ	
ル	カ	カ	ジ	ム	ハ	ン	ン	ボ	ミ	ム	ガ	ハ	ム	ト	リ	ハ	ナ	リ	ガ	タ	ミ	ホ	ダ	ク	ツ	
シ	イ	ラ	ラ	シ	ゴ	ジ	バ	タ	マ	シ	ガ	ハ	ム	ト	ム	ム	ム	シ	タ	ハ	ニ	コ	リ	ク	ム	
		ミ	ミ	ミ	モ	ラ	バ	バ	バ	シ	ガ	ハ	ム	ト	シ	シ	シ	シ	タ	ハ	ニ	コ	リ	ク	ム	
		類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	
				◎		◎	◎			◎						◎	◎	◎							35	
◎	◎	◎		◎		◎	◎			◎							◎	◎							36	
◎			◎	◎		◎				◎							◎	◎							37	
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					◎	◎	◎								38	
◎	な		◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎			◎	◎	◎		◎						39	
																									40	
◎	◎	◎	◎	◎			◎			◎		◎			◎	◎	マ								41	
				◎						◎															42	
				◎						◎						ワ									43	
				◎			成			◎					◎	◎			◎						44	
									◎									◎							45	
				◎						◎				◎	◎	◎									46	
				◎						◎			◎	◎	◎	◎									47	
				◎						◎	◎		◎	◎	◎	◎				◎		ミ			48	
										◎		◎										◎	カ		49	
										◎		◎										◎	カ		50	
◎	◎	◎							◎	コ	◎		ク		◎		◎		◎				カ		51	
																	◎		◎						52	
	◎			◎		◎	◎	◎		◎					◎	フ	◎	◎	◎		◎				53	
幼	幼	未	ジ			◎	成								◎	フ	◎	◎		◎					54	
◎	◎	若				◎				◎						フ	◎	◎		◎					55	
◎	◎	◎	◎				成					◎	ヨ		ス				◎			◎	リ		56	
◎	◎	◎					成																		57	
◎	◎	◎					◎	成									◎		◎				◎	カ	◎	
			◎	◎			◎	成						ヨ			◎		◎				◎	カ	◎	
																						◎			61	
																								◎	◎	

カンキツ*1 (作物群登録)(果樹類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ミ	ナ	そ	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ類	チャノキイロアザミウマ	ネギアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	アブラムシ類	ヨコバマイ	カイガラムシ類	コナカイガラムシ類	ロウムシ類	
																		☆
63 モレスタン水	☆	☆	☆	他	UN		30	1										
							7	3										
64 アプロードエースFL	☆			殺ダニ・IGR	21A・16		14	2							◎	◎	◎	
		☆	☆				45	2							◎	◎	◎	
65 キラップJ水	☆	☆	☆	フェニル [®] ラゾール [®] ・ヒ [®] レスロイト [®]	2B・3A		21	2		◎			◎					
66 トラサイドA乳	☆			有機リン・有機リン	1B・1B		*d	1										

- *1:カンキツ…「農薬登録における適用作物名について」(P.40)を参照のこと。
 ※みかん、なつみかん、その他のカンキツ(ゆず、レモン等)に使用できる農薬(使用法)を☆で区別した。
 露:露地栽培
 施:施設栽培
 *a:夏期(6~10月)
 *b:発生前~発生初期
 *c:春期(4~5月)
 *d:産卵最盛期~幼虫食入初期(但し収穫14日前まで)
 *e:6~7月(産卵初期~産卵最盛期直前)(但し収穫90日前まで)
 *f:幼虫食入初期(但し収穫14日前まで)
 *g:収穫14日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)
 *h:冬期(12~3月)
 *i:夏期(6~7月中旬)
 *j:4~5月
 *k:着色後又は秋期(10~11月)
 *l:5~6月(成虫発生期直前)(但し収穫90日前まで)
 *m:3~6月中旬(使用方法は連続散布)
 *n:幼虫食入初期(但し収穫120日前まで)
 *o:6~7月(産卵初期~産卵最盛期直前)(但し収穫120日前まで)
 *p:5~6月(成虫発生期直前)(但し収穫120日前まで)
 *Q:商品により使用時期の登録内容が異なるので注意する
 *r:収穫30日前まで(但しミカンキイロアザミウマは収穫14日前まで)
 *s:幼虫発生期

カンキツ

ア	サ	ヤ	コ	カ	ア	ミ	ミ	ス	ミ	ハ	ミ	ア	ハ	ケ	シ	ケ	ゾ	コ	カ	ミ	カ	ク	ハ	チ	サ	ナ	カ
カ	ン	ノ	ミ	メ	オ	カ	カ	カ	マ	マ	ノ	ゲ	ス	ク	シ	ウ	オ	オ	キ	ン	ネ	ワ	ノ	ヤ	ビ	メ	タ
マル	ホー	ネ	ナ	メ	バ	カ	ン	ン	マ	キ	ノ	ゲ	モ	ク	シ	ウ	オ	オ	キ	ナ	ネ	ノ	ダ	ノ	ビ	メ	タ
カイ	ゼ	カ	ゲ	ム	ハ	ン	ツ	ハ	キ	ム	ガ	ン	ン	ト	キ	ハ	ハ	ナ	リ	ガ	タ	ミ	ホ	ダ	メ	ツ	ム
ガラ	カイ	イ	コ	シ	ゴ	バ	ボ	モ	ジ	シ	ハ	ヨ	ト	リ	ス	ナ	ム	ム	タ	タ	ハ	コ	ダ	ク	ム	リ	
ムシ	ラム	ラ	ナ	ラ	ロ	バ	マ	バ	ラ	シ	ガ	ハ	ト	ム	シ	グ	シ	シ	ム	タ	ム	ニ	ダ	ジ	リ	リ	
			類	ミ	モ	エ	エ	類	ガ	類	類	ウ	類	類	類	類	類	類	シ	キ	シ	類	類	類	類	類	
																						◎	◎	◎	◎		
◎	◎	◎																					◎	◎	◎	◎	
◎	◎	◎																					◎	◎	◎	◎	
									成					◎	◎												
																			◎								

- カ:ミカンサビダニ
- キ:クワゴマダラヒトリ
- ク:クワゴマダラヒトリ若齢幼虫
- コ:コカクモンハマキ
- ゴ:ゴマダラカミキリ成虫
- ジ:ミカンコナジラミ
- ス:スグリゾウムシ
- チ:チャノミドリヒメヨコバイ
- ツ:ツノロウムシ
- ド:ミドリヒメヨコバイ
- ナ:ナミアゲハ
- ネ:ネギアザミウマを除く
- フ:フラーバラゾウムシ
- マ:ゴマダラカミキリ(主幹から株元に散布)及びゴマダラカミキリ成虫(散布)
- ミ:ミカンハダニ
- ユ:ユキヤナギアブラムシ
- ヨ:ヨモギエダシヤク
- リ:リュウキュウミカンサビダニ及びミカンサビダニ
- ワ:ワタミヒゲナガゾウムシ
- ゴ:ゴマダラカミキリ
- ナ:ナシマルカイガラムシ
- マ:ゴマダラカミキリ幼虫
- ル:ツノロウムシ幼虫及びビルビーロウムシ幼虫
- 成:成虫 幼:幼虫 若:若齢幼虫 未:幼虫～未成熟成虫

カ
ン
キ
ツ

カンキツ(作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
かいよう病		1. 病苗を定植しないように注意する。 2. 病葉、病枝を除去する。	温州みかんは発生が少ない。 ミカンハモグリガの発生、台風の襲来、チッ素肥料の過施用は本病を助長する。 #1みかんとみかん以外では使用時期の登録が異なるので注意する。
	新梢伸長期	・4月下旬～5月下旬、7、8月に次の薬剤のいずれかを散布する。 カスミンボルドー(水) #1 1000倍 Zボルドー(水) 500～1000倍	
	落花直後	・5月下旬～6月上旬に4-3式ボルドー液を散布する。	
青かび病・緑かび病	収穫前	・収穫前(10月下旬～11月中旬)に次の薬剤のいずれかを散布する。 トップジンM水和剤● 2000～3000倍 ベフラン液剤25#1 2000～3000倍 ベンレート水和剤●#1 4000～6000倍	病原菌は果皮の傷口から侵入し、貯蔵中に発生する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 貯蔵温度は3～5℃、湿度は80～85%が最適である。 #1みかんとみかん以外では使用回数登録が異なるので注意する。
	貯蔵前	・果皮に傷があるものはいいいに選別、除去する。	
黒点病		1. 病枝・枯れ枝は見つけしだい除去する。 2. 剪定枝などは早めに園外に埋没する。 3. 寒害、日焼け、虫害(カミキリムシなどせん孔害虫)などによる枯枝の発生を防ぐ。 4. 次の薬剤のいずれかを散布する。	病原菌は枯枝で越冬し降雨により胞子を飛して伝染源となる。葉や果実に黒点を生ずるだけでなく、樹脂病の原因ともなる。 #1みかんとみかん以外では使用時期の登録が異なるので注意する。 #みかんのみに適用
	6月上旬～中旬	ストロビードライフロアブル 2000～3000倍	
	7月上旬～中旬	ジマンダイセン水和剤#1 みかん 400～800倍	
	8月下旬～9月上旬	みかんを除く 600～800倍 デランフロアブル 1000～1500倍 フロンサイドSC 2000倍 ラビライト水和剤# 500～800倍	
そうか病		1. 病苗を定植しないように注意する。 2. 病葉、病枝を除去する。	落花直後から梅雨期にかけて防除を重点的に行う。 チッ素肥料の過施用は本病を助長する。

カンキツ(作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(そうか病)	発芽直後～落花期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 デランフロアブル 1000倍 ゲッター水和剤●#1 みかん 1000～1500倍 みかんを除く 1500倍 トップジンM水和剤●# 1000～1500倍 ベンレート水和剤●# 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #みかんのみに適用 #1みかんとみかん以外では使用時期の登録が異なるので注意する。
アブラムシ類	5月・7～8月	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤 3000倍 アドマイヤーフロアブル*a 2000～5000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 オリオン水和剤40 1000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 スミチオン乳剤# 1000～2000倍 テルスター水和剤 1000倍 ベストガード水溶剤 1000～2000倍 	<ul style="list-style-type: none"> *a露地栽培については発芽期から開花期を除く #みかんおよびなつみかんのみに適用。但し、使用時期の登録が異なるので注意する。
チャノキイロアザミウマ		<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤# 2000倍 ベストガード水溶剤# 1000～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍 	#アザミウマ類での登録
ミカンキイロアザミウマ		<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 オリオン水和剤40#1 1000倍 コテツフロアブル#2 2000～6000倍 ベストガード水溶剤#1 1000～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤#1 2000～4000倍 	<ul style="list-style-type: none"> #1アザミウマ類での登録 #2アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)での登録
コナカイガラムシ類	12～3月(冬期)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 スピンドロン乳剤#1 60倍 	<ul style="list-style-type: none"> #1カイガラムシ類での登録 12月は果実採集後、10日以上たってから散布する。また、老樹や樹勢の弱いものは被害が出やすいので注意する。

カンキツ

カンキツ(作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(コナカイガラムシ類)	6～8月	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤 2000～3000倍 アルバリン顆粒水溶剤 1000～2000倍 オリオン水和剤40#2 1000倍 スタークル顆粒水溶剤 1000～2000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 	#2カイガラムシ類での登録
ナシマルカイガラムシ	幼虫発生期 6月下旬・ 7月上旬・ 8月中旬～ 下旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 アプロードフロアブル# 1000倍 	#カイガラムシ類幼虫での登録。みかんとみかん以外では使用時期の登録が異なるので注意する。
ツノロウムシ	7月中旬・ 8月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 カルホス乳剤#1 1000～1500倍 スプラサイド乳剤40#2 みかん 1000～1500倍 みかんを除く 1500倍 	#1みかんのみに適用 カイガラムシ類での登録 #2幼虫での登録
ミカンコナジラミ	6月中旬～ 下旬・8月 中旬(幼虫 発生期)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤# 3000倍 スプラサイド乳剤40 みかん 1000～1500倍 みかんを除く 1500倍 	#コナジラミ類での登録
ミカンハモグリガ	7月中旬 8月上旬 (芽が5～10 mm伸びた時 に1回目)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 2000～4000倍 カルホス乳剤# 1000～1500倍 スピノエースフロアブル 4000～6000倍 テルスター水和剤 1000～2000倍 	夏芽の発生状況に注意し、発生の多い場合は7～10日間隔の散布が必要である。 #みかんのみに適用
ハマキムシ類	4月下旬・ 6月上旬・ 7月中旬・ 8月中旬・ 9月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 オリオン水和剤40 1000倍 カルホス乳剤# 1000～1500倍 	コカクモンハマキ、チャハマキの発生は、年4～5回みられる。 #みかんのコカクモンハマキでの登録 ◇果樹類(作物群登録)のページも参照のこと。

カンキツ(作物群登録) (果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項	
カミキリ ムシ類	6～7月	<p>・被害部を見つけ刺殺する。</p> <p>1. 次の薬剤を樹幹の地際部から所定の高さ(約30～40cm)まで丁寧に塗布又は散布(1.5倍希釈液)する。 ガットサイドS(乳)#1 1～1.5倍</p> <p>2. 次の薬剤を散布する。 オリオン水和剤40#2 1000倍</p>	<p>#1みかんおよびなつみかんのみに適用。但し、使用時期の登録が異なるので注意する。 #2ゴマダラカミキリでの登録</p>	
	6月下旬～8月	<p>・次の薬剤を、産卵最盛期～幼虫食入初期(但し収穫14日前まで)に樹幹部に十分散布する。 トラサイドA乳剤#3 200倍</p>		#3みかんのみに適用
	成虫発生初期	<p>・次の薬剤を主幹部へ巻きつける。 バイオリサ・カミキリ* 1本/1樹</p>		*果樹類での登録
ミカンハダニ	4～5月・6～10月	<p>・次の薬剤を散布する。 スピンドロン乳剤 100～200倍</p>	<p>同系統の薬剤の連用は避ける(ハダニ類防除薬剤の項参照)。</p> <p>#1露地栽培のみに適用</p> <p>#2みかんとみかん以外では使用時期の登録が異なるので注意する。</p>	
	6～10月	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイト水和剤 2000～3000倍 タイタロンフロアブル#1 3000倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 バロックフロアブル#2 2000～3000倍 ピラニカ水和剤#2 1000～2000倍</p>		
チャノホコリダニ	5～10月	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル 1000～1500倍 コテツフロアブル 2000～6000倍 サンマイト水和剤 3000倍</p>		
ミカンサビダニ	7～9月	<p>・次の薬剤を散布する。 ハチハチフロアブル 2000～3000倍</p>	果梗、果実の一部にほこり状に群生したらただちに防除する。	
その他の病害虫		フラーバラゾウムシ、ミカンナガタムシ、ハスモンヨトウ、カネタタキ、ミカンキジラミ		